

## 1 総合説明

---

- ① 出荷頭数前年比 99.8%と減少
- ② 価格は前年比 88%と大きく下がった。
- ③ 販売価格常にトップを維持していた兵庫(淡路・但馬)が、新型コロナの影響を受け販売価格下落したために、子牛価格が高く買えなくなってしまう、ランクを下げる事となった。
- ④ 全国的に子牛が不足傾向(出生に対し素牛出荷割合の減)に有る為、比較的安く買えた離島に購買者が新規に入り込んだために、離島価格は上がってきている。
- ⑤ 又比較的月齢が若い牛が離島で買える為に、それを求めに離島価格が上がったものと思われる。
- ⑥ 全般的に西日本が高く、東日本は比較的価格は低い傾向に有る。

## 2 雌牛価格ランキング

---

- ① 気高系を中心とした、大型母牛の人気の有る為に鳥取中央・鹿児島薩摩などが上位にランクされた。
- ② 昨今受精卵移植雌牛の人気の高まり、血統の良い雌牛価格が高騰している。  
その為に、去勢価格平均より雌牛平均価額が 5 万円/頭程高くなっている。

## 3 去勢価格ランキング

---

- ① 鹿児島県離島の種子島が全国一位とであつた。二位は長崎県平戸
- ② 岐阜県(飛騨 3 位・関 5 位)長野中央も 11 位以内に中部地区の上位が目につく。
- ③ 東北・沖縄のランクは低い。

## 4 乳用種への和牛交配状況(交雑)

---

- 全国 30%強と増えている。
- 西日本ではホル雌に対し 50%以上は和牛を付けている状況である。